

## 検 査 部

部	長	北 島 勲
副 部	長	小 方 則 夫
助 手	長	小 澤 哲 夫
技 師	長	大 門 良 男
副 技 師	長	奥 田 忠 卓
副 技 師	長	桑 原 郁 子
主任臨床検査技師		吉 林 史 朗
主任臨床検査技師		柴 谷 則 子
主任臨床検査技師		野 手 良 剛
主任臨床検査技師		坂 本 純 子
臨床検査技師		木 屋 千 恵 子
臨床検査技師		角 田 美 鈴
臨床検査技師		川 島 猛 志
臨床検査技師		小 野 裕 子
臨床検査技師		多 賀 由 紀 子
臨床検査技師		長 澤 智 子
臨床検査技師		森 田 未 香
臨床検査技師		矢 野 彩 子

### ◆ 著 書

- 1) 北島 勲：止血・血栓，血管内科（江頭健輔，久米典昭，倉林正彦，栗原裕基，堀内正嗣，森下竜一編），95-104，メデイカルレビュー社，東京，2001.
- 2) 北島 勲：血管内皮細胞，最新膠原病・リウマチ学（宮坂信之編），6-13，朝倉書店，東京，2001.
- 3) 山口宗一，北島 勲：LPS，Vascular Biologyナビゲーター。（丸山征郎，安藤譲二，佐藤靖史編），362-363，メデイカルレビュー社，東京，2001.
- 4) 小方則夫，上村朝輝，島山重秋：D型肝炎（市田文弘，他編）臨床肝臓病学，64-68日本メデイカルセンター，東京，2001.

### ◆ 原 著

- 1) Liu Y, Wang Y, Yamakuchi M, Masuta S, Tokioka T, Yamaoka S, Maruyama I, and Kitajima I: Phosphoinositide-3 kinase-PKB/Akt pathway activation is involved in fibroblast Rat-1 transformation by human T-cell leukemia virus type-1 tax. *Oncogene*. 20:2514-2526, 2001.
- 2) Kubo T, Kitajima I, Makinodan A, Nirastuka S, Inoue S, Otsuka G, Ohashi S, Ueshima K, and Hirasawa Y: Fibrin Monomer would

be useful predictor of pulmonary embolism following total hip arthropathy. -preliminary report- *J. Orthopaedic Sci* 6:119-122, 2001.

- 3) Yoneda T, Maruyama Y, Uji Y, Motomiya Y, Hashiguchi Y, Miura M, Kitajima I, and Maruyama I: A possible role of leptin in the normo or hypoparathyroidism uremic bone in postmenopausal dialysis women. *J. Bone Miner. Metab.* 19:119-124, 2001.
- 4) Sarker KP, Nakata M, Kitajima I, Nakajima T, and Maruyama I.: Inhibition of caspase-3 activation by SB203580, p38 Mitogen-activated protein kinase inhibitor in nitric oxide induced apoptosis of PC12 cells. *J. Mol. Neurosc* 15: 243-250, 2001.
- 5) Wang Y, Liu Y, Ito Y, Hashiguchi T, Kitajima I, Yamakuchi M, Shimizu H, Matsu S, Imaizumi H, and Maruyama I: Simultaneous measurement of anandamide and 2-arachidonoylglycerol by polymyxin B-selective adsorption and subsequent high-performance liquid chromatography analysis: Increase in endogenous cannabinoids in the sera of patients with endotoxin shock. *Anal. Biochem.* 249:73-82, 2001.
- 6) Iguchi A, Kobayashi R, Yoshida M, Kobayashi K, Matsuo K, Kitajima I, and Maruyama I: Vascular endothelial growth factor (VEGF) is one of the causative and predictive cytokines of hepatic veno-occlusive disease (VOD) in stem cell transplantation. *Bone Marrow Transplantation*. 27:1173-1180, 2001.
- 7) Kishida A, Matsuyama T, Kitajima I, and Maruyama I: Study of cell-material interaction by estimating NF- $\kappa$ B activation in HeLa S3 cells adhered on to hydrophilic substrates, *Biomaterials* 22:541-546, 2001.
- 8) Liu Y, Wang Y, Yamakuchi M, Iwasaki S, Nagata E, Kanmura Y, Kitajima I, and Maruyama I: Upregulation of toll-like receptor 2 gene expression in macrophage response to peptidoglycan and high concentration of lipopolysaccharide is involved in NF- $\kappa$ B activation. *Infect. Immun.* 69:2788-2796, 2001.
- 9) Kubo T, Arai Y, Takahashi K, Ikeda T, Ohashi S, Kitajima I, Matsuda O, Takigawa

- M, Imanishi J, and Hirasawa Y: Expression of transduced HSP70 gene protects chondrocytes from stress. *J. Rheum.* 28:330-335, 2001.
- 10) Niimi H, Arimura K, Jonosono M, Hashiguchi T, Kawabata M, Osame M, and Kitajima I: VEGF is causative for pulmonary hypertension in a patient with Crow-Fukase (POEMS) syndrome. *Internal Medicine.* 39:1101-1104, 2000.
- 11) Yamada T., Yamada H., Morikawa M., Kato H. E., Kishida T., Ohnaka Y., Nikaido H., Ozawa T., and Fujimoto S.: Management of pregnancy with congenital antithrombin III deficiency: Two case reports and a review of the literature. *J. Obstet. Gynaecol. Res.* 27:189-197, 2001.
- 12) 小方則夫: 北島 勲, 市田隆文: ラミブジン耐性B型肝炎ウイルス: peptide nucleic acid mediated PCR clamping (PMPC) 法によるポリメラーゼYMDDモチーフ塩基変異の高感度検出. *肝臓* 42(4):223-224, 2001.
- 13) 山之内恒昭, 青野珠可, 三村泰彦, 足立伊佐雄, 角田美鈴, 長澤智子, 森田未香, 矢野彩子, 林史朗, 大門良男: 輸血容器及び輸液セットにおけるインスリン吸着とその予防. *Jpn. J. Pharm. Health. Care. Sci* 27(6):583-588, 2001.
- 14) 木屋千恵子, 若木邦彦, 室坂千鶴子, 石澤 伸: 未分化癌成分を伴った膀胱明細胞腺癌の1例. *J. Jpn. Soc. Cytol.* 40:610-615, 2001.
- ◆ 症例報告
- 1) Sugiyama E, Ozawa T, Taki H, Maruyama M, Yamashita N, Ohta M, Hirata M, and Kobayashi M: Hereditary angioedema with a denovo mutation of exon 8 in the C1 inhibitor gene showing recurrent edema of hands around peripheral joints. Importance for differential diagnosis of joints swelling. *Arthritis. Rheum.* 44(4):974-977, 2001.
- 2) 岸辺美幸, 島田賢一, 石倉直敬, 川上重彦, 赤井卓也, 小澤哲夫: Carpenter症候群の1症例. *日形会誌*, 21:112-117, 2001.
- ◆ 総 説
- 1) 北島 勲: 検体サンプリング, 血液保存と高K血症. *Medical Practice* 18:317, 2001.
- 2) 北島 勲: 多発性骨髄腫と赤沈. *Medical Practice* 18:1028, 2001.
- 3) 北島 勲: ポストゲノム時代における大学診療部の果たすべき役割. 遺伝子診療の重要性. *鹿児島大学医学部遺伝子治療研究会年会誌*. 4-6, 2001.
- 4) 北島 勲: 遺伝子医薬品開発とその臨床応用を目指して: HTLV-I感染症の治療応用, 血管新生抑制法への応用. *鹿児島大学医学部遺伝子治療研究会年会誌*. 8-9, 2001.
- 5) 北島 勲: ステロイド誘発性骨粗鬆症. *CLINICAL CALCIUM* 11:34-40, 2001.
- 6) 北島 勲: 臨床検査医学の新しいチーズを楽しもう. *JACLaP NEWS* 60:5, 2001.
- 7) 北島 勲: ポストゲノム時代の臨床検査最前線. 第8回中部地区臨床検査研修会誌: 27-28, 2001.
- 8) 北島 勲: 血管新生における転写調節機構. *血管医学* 2:553-560, 2001.
- 9) 北島 勲: comments for the paper of "Vascular endothelial growth factor enhances atherosclerotic plaque progression. *Nature Medicine*, 2001;7:425-429". *Chugai Selected Cardiovascular Evidence, Excerpta Media.* 10:2, 2001.
- 10) 北島 勲: Molecular pathomechanisms of human T-cell leukemia virus type I (HTLV-I) tax-mediated tumorigenesis. 千葉工業大学ハイテクリサーチセンター 平成12年度「アンチセンス核酸の分子設計」研究成果報告書: 26, 2001.
- 11) 山口宗一, 北島 勲: 炎症における血管新生に関する最近の進歩. *臨床免疫* 33:544-540, 2000.
- 12) 久保俊一, 北島 勲: 肺塞栓予測にフィブリンモノマー測定. *Medical Practice* 18:1727, 2001.
- 13) 小方則夫: B型慢性肝炎に対するラミブジンの治療指針. *日経メディカル* 30:102-105, 2001.
- ◆ 学会発表
- 1) Kabata T, Kubo T, Matsumoto T, Nishino M, Horii T, Kitajima I, Tomota K: Apoptotic cell death in steroid-induced osteonecrosis: an experimental study in rabbits. The 46th Annual Meeting of Orthopaedic Research Society. 2001, 3, SanFrancisco, USA.
- 2) Kabata T, Kubo T, Matsumoto T, Nishino M, Horii T, Tomota K, Kitajima I: Apoptotic cell death in steroid-induced osteonecrosis in rabbits. The 4th Korea-Japan Combined Meeting of Rheumatology, 2001, 3, Tokyo.
- 3) 北島 勲, 劉 彦, 丸山征郎: Toll like receptor (TLR)を介する転写因子NF-kB活性化分子機構:

- アンチセンスNF- $\kappa$ Bによるエンドトキシン血症治療法開発. 第5回エンドトキシン血症治療研究会, 2001年1月, 横浜
- 4) 北島 勲: 21世紀のエンドトキシン血症治療. 第5回エンドトキシン血症治療研究会. 2001, 1, 横浜.
  - 5) 北島 勲: 血管新生, 炎症を標的にした遺伝子医薬品の開発. 第44回日本腎臓病学会. 2001, 5, 東京.
  - 6) 北島 勲: ウイルス感染症治療の進歩と展望. 感染症病態形成過程を考慮した遺伝子医薬品の開発. 第73回日本生化学会大会. 2001, 10, 京都.
  - 7) 北島 勲: エンドトキシン血症に対する新しい治療戦略: 高濃度LPS刺激状態ではNF- $\kappa$ B活性化を介してToll-like receptor 2の発現誘導が生じる. 第7回日本エンドトキシン研究会. 2001, 11, 大宮.
  - 8) 北島 勲: 骨粗鬆症の診断と治療. 第16回日本臨床リウマチ学会総会. 2001, 11, 名古屋.
  - 9) 小澤哲夫: 血栓性疾患の予知・診断に役立つ凝固・線溶検査〔遺伝子検査を含む〕. 日本臨床検査自動化学会第33回大会. 2001, 9, 横浜.
  - 10) 北島 勲: 動脈硬化進展とプラークラプチャーにおける血管内皮細胞活性化の重要性. 第2回心筋虚血研究会. 2001, 5, 大阪.
  - 11) 北島 勲: 慢性関節リウマチの骨破壊と骨代謝異常について. 金沢整形外科夏期セミナー. 2001, 7, 金沢.
  - 12) 北島 勲: ポストゲノム時代の臨床検査最前線. 第8回中部地区臨床化学検査研修会. 2001, 9, 富山.
  - 13) 小方則夫: HBV感染症に対するラミブジン治療とHBVポリメラーゼ変異. 第87回日本消化器病学会総会. 2001, 4, 東京.
  - 14) 小方則夫: HBV YMDDモチーフ塩基配列の高感度検出. 第3回ゼフィックス治療研究会. 2001, 7, 新潟.
  - 15) 小方則夫: B型肝炎ウイルス感染症に対するラミブジン治療. 第1回肝疾患治療カンファレンス. 2001, 12, 富山.
  - 16) 佐藤 啓, 石木 学, 山崎勝也, 中村典雄, 浦風雅春, 大角誠治, 小林 正, 奥田忠行: 血圧変動スペクトル解析による糖尿病自律神経障害の評価. 第9回富山糖尿病合併症研究会. 2001, 2, 富山市.
  - 17) 長澤智子, 林 史郎, 角田美鈴, 森田未香, 大門良男, 北島 勲: 急性心筋梗塞の臨床経過におけるトロポニンT有用性の検討. 第40回日本臨床検査医学会, 東海北陸支部総会. 2001, 3, 静岡.
  - 18) 奥田忠行, 北島 勲, 佐藤 啓, 大角誠治, 関根道和: 心拍・血圧変動スペクトル解析における参考正常値について. 第40回日本臨床検査医学会, 東海北陸支部総会. 2001, 3, 静岡.
  - 19) 北島 勲, 大門良男: 大学生の飲酒習慣とaldehyde dehydrogenase 2 遺伝子多型との関連. 第12回日本臨床化学会東海北陸支部総会. 2001, 6, 福井.
  - 20) 桑原卓美, 川島猛志, 谷みね子, 坂本純子, 大門良男, 北島 勲, 加藤 勤: 血液細胞画像ファイリングシステムの構築およびその活用. 第2回日本検査血液学会学術集会. 2001, 7, 大阪.
  - 21) 北島 勲: 慢性関節リウマチの関節破壊機序(骨芽細胞のアポトーシス誘導分子機構について). 第31回富山リウマチと免疫研究会. 2001, 8, 富山.
  - 22) 北島 勲, 加畑多文, 久保俊一: ステロイド誘発骨頭壊死におけるアポトーシスの関与. 第19回日本骨代謝学会. 2001, 8, 富山.
  - 23) 奥田忠行, 大門良男, 北島 勲, 佐藤 啓, 大角誠治, 関根道和: 血圧変動・心拍変動スペクトラム解析における疾患(糖尿病, 高血圧)との関係. 第48回日本臨床検査医学会総会. 2001, 8, 横浜.
  - 24) 長澤智子, 多賀由紀子, 小野裕子, 野手良剛, 吉田都子, 大門良男, 北島 勲: Haemophilus属の薬剤感受性試験について. デイスク法とMIC法の比較. 第26回北陸臨床病理集談会. 2001, 9, 金沢.
  - 25) 大門良男, 奥田忠行, 桑原卓美, 北島 勲: 患者サービス向上を目指した大学病院検査部内改革の取り組み: 検査部内活性化と時間外緊急検査整備. 第26回北陸臨床病理集談会. 2001, 9, 金沢.
  - 26) 柴則子, 林 史郎, 野手良剛, 大門良男, 小澤哲夫, 北島 勲: 小児抗核抗体についての検討. 第26回北陸臨床病理集談会. 2001, 9, 金沢.
  - 27) 谷みね子, 扇谷晶子, 坂本純子, 川島猛志, 桑原卓美, 大門良男, 北島 勲, 渡辺綾佳, 栗原真紀子, 野村恵子, 金兼弘和, 本郷和久, 八木信一, 宮脇利男: 末梢血リンパ球の空胞形成と好酸球の異常果粒出現を契機に診断されたGM1ガングリオシドーシスの1例. 第26回北陸臨床病理集談会. 2001, 9, 金沢.
  - 28) 佐藤 啓, 石木 学, 山崎勝也, 岩田 実, 鷹田美智子, 浦風雅春, 岸田みか, 五十嵐保史, 笹岡利安, 大角誠治, 奥田忠行, 北島 勲, 小林

正：血圧変動スペクトラム解析による糖尿病性心血管系自律神経障害の評価。第16回日本糖尿病合併症学会。2001, 10, 大阪。

29) 貝沼茂三郎, 小方則夫, 萬谷直樹：難治性C型慢性肝炎に対するインターフェロンと麻黄湯の併用療法について。第34回日本肝臓学会西部会。2001, 12, 高知。

30) 小澤哲夫, 北島 勲, 血小板および好中球細胞質に電顕的封入体を認めた常染色体優性血小板減少症の一家系。第24回日本血栓止血学会学術集会。2001, 11, 京都。

31) 木屋千恵子, 室坂千鶴子, 若木邦彦, 石澤 伸：斜台に発生した脊索腫の1例。第40回日本臨床細胞学会秋期大会 2001, 11, 米子。

32) 福永寿晴, 中村正人, 奥田忠行, 岩佐一郎, 谷 涉, 梅本雅夫, 桑 克彦：血液ガス測定用標準物質による標準化の試み(第3報)。第33回日本臨床検査自動化学会会誌 2001, 9, 横浜。

◆ その他

1) 北島 勲：宇宙旅行から骨の健康を考える。平成13年度富山医科薬科大学公開講座。2001, 6, 富山。

2) 小方則夫：B型肝炎の治療, Mutation検出系。第6回 Otsuka Liver Symposium。2001, 11, 大阪。

薬 劑 部

教授	足立伊佐雄
助教授	川上純一
助手	加藤敦彦
副部長	三村泰徳
薬剤主任	北澤英徳
薬剤主任	川尻憲行
薬剤主任	山之内恒昭
薬剤師	格谷美奈子
薬剤師	小笠原明美
薬剤師	上谷幸男
薬剤師	畑(松本)育子
薬剤師	高木昭佳
薬剤師	寺田真紀子
薬剤師	村崎善之

◆ 著 書

- 1) 足立伊佐雄, 阿部和史, 阿部宏子, 神田 進, 木津純子, 牧村瑞穂, ナースのための薬理学, 第4版; 第8章皮膚作用薬, 第9章ホルモン, オータコイド, 第10章ビタミン, 第12章化学療法薬, 第13章生物学的製剤, 南山堂, 東京, 2001.
- 2) 川上純一(分担執筆), 臨床検査データブック, 2001-2002, 高久史磨監修, 黒川 清, 春日雅人, 北村聖編集, 医学書院, 東京, 2001.
- 3) 北澤英徳, 足立伊佐雄: 西洋薬と漢方薬, ハーブの相互作用(2) -薬物代謝が関係した相互作用以外-, “薬と漢方薬, ハーブ”, 薬局別冊52(2), 1132-1137, 2001.

◆ 原 著

- 1) Ngawhirunpat T., Yoshikawa H., Hatanaka T., Koizumi T. and Adachi I.: Age-related changes in skin permeability of hydrophilic and lipophilic compounds in rats, Pharmazie 56, 231-234, 2001.
- 2) Ngawhirunpat T., Hatanaka T., Kawakami J. and Adachi I.: Age Difference in Simultaneous Permeation and Metabolism of Ethyl Nicotinate in Rat Skin, Biol. Pharm. Bull. 24, 414-417, 2001.
- 3) Banba Y., Abe C., Nemoto H., Kato A., Adachi I. and Takahata H.: Asymmetric synthesis of fagomine and its congeners, Tetrahedron: Asymmetry 12, 817-819, 2001.
- 4) Sawamura R., Kawakami J., Sato H. and Iga T.: Inhibitory effects ofazole antibiotics